



新見市 株式会社いろりカンパニー(肉用牛)

もくじ

新年にあたって	〔県民局だより〕
(一社)岡山県畜産協会	1頭のヤギから始まった自家製チーズ作り
代表理事会長 柴田 範彦 1	備中県民局農畜産物生産課畜産第二班 12
年頭の挨拶	〔技術のページ〕
岡山県農林水産部畜産課	乳用牛雌雄選別精液の利用と普及性
畜産課長 菱川 雅弘 2	畜産研究所繁殖システム研究グループ 14
〔特集〕持続的な畜産経営を目指して・酪農の省力化から見えてくる働き方を考える〜(一社)岡山県畜産協会・・・・・・・・・・3	〔家保のページ〕JGAP認証制度について(JGAPと農場HACCP)津山家畜保健衛生所 16〔生乳検査NOW〕
CSF (豚コレラ) 等の防疫対策	生乳検査NOW: 令和元年度上期
岡山県農林水産部畜産課衛生環境班 9	(一社)岡山県畜産協会生乳検査センター… 18
〔畜産現場の声〕	〔農業共済だより〕
異業種参入による耕作放棄地等の	家畜診療日誌
借地放牧による繁殖経営から	岡山県農業共済組合 北部基幹家畜診療所
株式会社いろりカンパニー	築山 嘉輝20

LIAJ 新規種雄牛!

NTP No.

JP5H 56793 ザウルス FCMax Sort®

(シヤムロツク × スノーマン × ゴールドウイン)

2019-2月

NTP +2,181 長命連産効果 +64,659円

乳代効果 +75,958円 ★乳器改良No.1!

★祖母は著名な「ゴールド ミツシー」

★当団初のシヤムロツク息牛!

GEBV

★乳成分率オ-ルプラス! (FAT%:第5位)



(娘) ミキファーム ザウルス エレベーシヨン 鳥取県 合同会社 三浦牧場 所有

Milk +614ka + 58kg +0.35% Fat + 62kg SNF -0.04% Pro + 28kg +0.09%

SCS 2.21 決定得点+1.38*4位!*

体貌と骨格+1.24 <u>8位</u>! 乳用強健性+0.76

肢蹄 +0.09

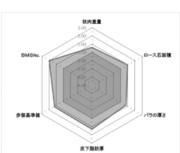
+1.84 1位!!

P黑1025 美津金幸 (美津照重×平茂勝×金幸)



【ゲノミック育種価】

- 枝肉主要3形質 第10位!
- BMS 第6位!
- 皮膚脂肪厚 第4位!
- 枝歩留基準値 第7位!



○現場後代検定成績

	調査	井頭数							
性別	総数	調査頭数	BMS No.	枝肉 重量	ロース芯面積	パラの 厚さ	皮下 脂肪厚	歩留 基準値	4等級 以上率
去勢	9	9	8.0	454	62	7.7	1.8	75.3	100%
雌	12	12	8.1	449	63	7.7	2.5	74.8	92%
平均	21	21	8.0	452	63	7.7	2.2	75.1	95%

【ケノミック育種価】

BM	1S	枝肉重	量(kg)	ロース芯面積(cm²)			
育種価	正確度	育種価	正確度	育種価	正確度		
2.649	0.94	18.303	0.93	5.240	0.92		
					γ		
パラの厚	さ(cm)	皮下脂肪	i厚(cm)	歩留基準値(%)			
育種価	育種価 正確度		正確度	育種価	正確度		
0.276	0.90	-0.640	0.93	1.226	0.93		

-社) 家畜改良事業団 岡山種雄牛センター

TEL: 0868(57)2475 FAX: 0868(57)2476



新年にあたって

一般社団法人 岡山県畜産協会 代表理事会長 柴田 範彦

明けましておめでとうございます。皆様にはつつしんで新年のお喜びを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご高配に対し心からお礼申し上げます。

昨年は、度重なる台風の上陸による甚大な被害の発生、米中の貿易摩擦や消費税の 引き上げにより経済の減速の兆しが見られ るなど、私たちの生活を左右する大きな出 来事がありました。

一方、ラグビーのワールドカップでは、 劣る体格をワンチーム力で補い、世界を驚 かす日本チームの快進撃が、多くの国民に 勇気と希望を与えてくれました。

さて、令和の時代が本格始動する本年、 畜産を取り巻く環境は、環太平洋経済連携 協定や欧州連合との経済連携協定が3年目 を迎え、輸入畜産物の増加による国内畜産 への影響が心配されるとともに、国内での CSF(豚コレラ)発生への不安、さらに ASF(アフリカ豚コレラ)の侵入も大変 危惧されるなど、依然として厳しい状況が 続くものと考えられます。

また、1月には、日米貿易協定が発効され、これにより主要な輸入国からの畜産物の関税が削減されることになり、我が国への輸入攻勢が一段と高まることが予想されます。

本年は、このような自由化の影響をどう 克服し、将来にわたってどう経営を持続し ていくか、先を見据えた対策と取り組みが 求められる年になるものと思います。 本年も引き続き、輸入畜産物に比較して国内畜産物の安全性の高さと品質の良さを広める工夫をし、国内消費をさらに伸ばすことが大切であります。また、農場HACCPやGAP認証など、商品の安全性や安心を見える形で消費者に提供することも一手法と思います。さらに、7月から開催される東京オリンピック、パラリンピックを好機ととらえ、海外からの観光客や関係者に対しての売り込みも強化したいものです。

一方、生産コストの低減と生産性向上に向けた不断の取り組みは欠かせません。 TPP関連対策である畜産クラスター事業等による施設整備や機械導入による規模拡大や効率化に加え、自給飼料の増産や確保も必要です。

畜産協会としましても、生産現場の声に 十分耳を傾けながら、各種事業の導入支援 を始め、経営指導、和牛入門講座による担 い手確保、酪農ヘルパーや飼料作物作業受 託組織など外部組織への支援、価格安定事 業、家畜衛生対策の推進、農場HACCP等 による衛生管理指導、畜産女性の経営への 参画など、畜産農家が将来にわたって経営 が持続できる環境作りに関係機関と連携を 密にして取り組んでいきたいと考えていま す。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願 い致します。

多産で縁起の良い鼠年、畜産が益々元気 になり、さらなる飛躍につながる素晴らし い年になりますようお祈り申し上げます。



年頭の挨拶

岡山県農林水産部 畜産課長 菱川 雅弘

新年あけましておめでとうございます。 皆様におかれましては、新元号令和となり、初めての新年を、お健やかにお迎えの ことと、心からお慶び申し上げます。また、 旧年中は県畜産行政の推進について格段の 御理解と御協力をいただき、誠にありがと うございます。

振り返りますと、昨年も、国内では度重なる豪雨や台風などの多くの自然災害が発生し、畜産業も多くの被害を受けました。 改めまして被災された方々にはお見舞い申し上げ、早期に復興されることをお祈りいたします。

畜産を取り巻く情勢につきましては、 高齢化や担い手不足による飼養戸数の減少 から生産基盤の弱体化等が懸念される中、 TPP11に続き日欧EPA協定が発効し、 さらに日米貿易協定が合意に達するなど、 畜産業をめぐる国際環境は新たな段階を迎 えており、将来を見据えて生産現場の課題 に的確に対応していくことが重要となって います。

また、一昨年国内では26年ぶりに発生したCSF(豚コレラ)については、豚へのワクチン接種が開始され、対策は新たな局面を迎えておりますが、依然として豚での発生と野生イノシシへの感染拡大が続いており、予断を許さない状況にあります。アジアでの発生が拡大しているASF(アフリカ豚コレラ)や口蹄疫等の対策とともに、引き続き関係機関が一丸となり、緊張感を

持っての防疫体制の強化が必要となっています。

こうした状況の中、本県では、「新晴れの国おかやま生き活きプラン」や、「21おかやま農林水産プラン」に基づき儲かる産業としての農林水産業の確立を目指し、衛生対策の徹底を図りながら、生産基盤の強化、生産性の向上、自給飼料の増産、担い手の確保等を推進するとともに、「おかやま和牛肉」や「岡山市場発F1牛肉清麻呂」、「ジャージー牛乳・乳製品」などのブランド力の強化等に取り組んでまいります。

さらに、本年は今後の本県畜産振興の道標となる、新たな「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画」を策定する重要な年となっておりますが、本県畜産業の持続的な発展と消費者から支持される畜産物の安定供給を図る計画とする所存でありますので、御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年10月には第15回 全日本ホルスタイン共進会が宮崎県で開催 されます。すばらしい成果があがりますよ う、皆様方のより一層の御協力と御支援を お願い申し上げますとともに、今年一年を 通じ、皆様方の御健勝と御多幸を心からお 祈り申し上げまして、年頭の挨拶といたし ます。

〔特集〕

持続的な家族経営を目指して ~ 酪農の省力化から見えてくる将来~

(一社) 岡山県畜産協会

我が国の酪農業の年間労働時間は2,000時間を超えており、他の畜種と比較して1割以上高くなっている。家族経営が主体の酪農業の持続を考えたとき、労働負担の軽減や省力化は重要な課題となっている。一方で、労働負担の低減が所得減になっては本末転倒であり、所得確保と両立した取り組みが必要である。現在、国では楽酪事業などにより労働負担軽減に繋がる機械や設備の導入を促しているところであり、今回の座談会ではこうした事業などを活用して、持続的な酪農経営を目指し、労働負担の軽減対策を進める県内の酪農家、特に担い手として活躍している30代から40代の方たちを迎え、取り組みの現状や課題、将来に対する展望など忌憚のない意見を伺った。

出席者(敬称略)

生 産 者:川上 拓郎(高梁市) 小橋 敏行(瀬戸内市)

徳山 彰 (井原市) 立田 豊常 (真庭市)

佐賀 大晃 (岡山市) 長恒 泰裕 (真庭市)

関係機関: 斉藤 浩史 (岡山県畜産課)

小島 悟司(おかやま酪農業協同組合)

座 長: 栗木 隆吉 (岡山県畜産協会)



栗木: 酪農業では、持続的な経営を展望したとき、長時間労働の改善が大きな課題となっています。本日、ご出席の酪農家の皆さんはすでに機械化や省力化に取り組まれており、取り組みの実際や経験、今後の展望などへ、お話いただきたい。

それでは、はじめに自 己紹介を兼ねて経営の概 況や労働負担軽減の取り 組み内容などをご紹介く ださい。



徳山:

22歳で酪農を継いで13年 目になる。労働力は父と 2人。10年前に搾乳ロ ボット1台を自費で導入 した。牛舎作業は楽に

なった。また、自給飼料も生産しており、 地域の酪農家などと共同で河川敷の利用も 進めている。また、妻が主体でジェラート の製造販売も手掛けている。



川上:現在、育成牛を含めて145頭を飼養している。労働力は、両親と私、妻が経理担当の4人。搾乳ロボットとパーラーを併用して管理している。粗飼料は購入している。



佐賀: 建部町でつなぎ牛舎で100頭を飼っている。 労働力は、両親と妻を含めた4人。自給飼料はイタリアンを9ha栽培している。自動給餌機を導

入しているが、給餌に合わせた作業が発生 しており、負担軽減より機械に使われてい る感がある。



立田: 蒜山で搾乳牛38頭を父と2人で管理している。自給飼料も20ha作っている。楽酪事業で自動給餌機を申請中であり、まだ削減の実感はないが期待している。



長恒: 蒜山で搾乳牛102 頭を飼っている。30年度 のクラスター事業で新し い牛舎を整備した。あえ てつなぎ型式で、マック スフィーダーやキャリロ

ボを合わせ作業の省力化を図っている。また、近所の酪農家 3 戸と共同で自給飼料生産を進めている。



小橋: 酪農に従事して3年ちょっと。搾乳牛38頭をつなぎで飼っている。自給飼料は生産していない。山の斜面を利用した育成牛の放牧や自動給餌

機の導入などにより省力化を進めている。

労働負担軽減の取り組み状況について

栗木: 今まで取り組んできた労働力負担軽 減対策について、その理由や実際の効果を 含め具体的にご紹介ください。

徳山:搾乳作業がかなり負担になっていた。 朝夕3時間ずつ。牧草を生産する時期は特 に大変だった。ロボットを導入して朝夕の 作業は1.5時間になり楽になった。空き時間 は堆肥生産や牛舎の修繕に利用している。 また、草の無い時期は子供と遊ぶ時間にあ てており生活全体にゆとりができたと感じ ている。

川上:パーラー搾乳が結構つらかった。3

年前に経営を父親から継承したタイミングで、将来も家族経営を続けることを前提に、搾乳ロボットとスクレーパーを導入した。搾乳だけでなく、牛の管理も楽になったと実感している。その他、餌寄せロボットは10年前に、ほ乳ロボットは15年前に導入済み。今後も機械で省力化できるところは検討していきたい。

佐賀:自動給餌機は、自分が就農する前からあったので負担軽減の実感はない。ただ、経営を父親から承継し、今後、自分がどのように進めていくべきか悩んでいる。今日の話を参考にしたい。

立田:きっかけは父が70歳を超え、体力的に限界で省力化は不可欠と考え、一番効率が悪いと思われた給餌作業を自動化したいと思った。

長恒:新しい牛舎を整備するにあたり、自分の酪農スタイルをまず考えた。自給飼料の活用や個体管理の徹底、生産ロスの低減を念頭にあえてつなぎ牛舎とし、キャリロボ13台による搾乳体制とした。その結果、以前は54頭を労働人数3名の搾乳で1時間弱かかっていたが、現在は96頭に増頭しているにもかかわらず同じ労働人数で1時間10分で済んでいる。体力的にも前の牛舎とは全く違って楽になった。

栗木: 酪農で省力化というと、まず搾乳ロボットが想起されます。導入されている方に伺います。導入を進めるうえでどのようなことが課題となりましたか。また、これから導入する人にアドバイスするとしたらどのようなことですか。

徳山:搾乳ロボットに合う牛をそろえること。具体的には、乳頭の位置がばらばらではだめ。また、ロボットは10年たつと修繕も多くなり、新しい機種は能力も高くなっ

ていることから、10年単位で新しいものに 交換した方がいいと感じている。現在は、 50頭で1台のロボットで対応しているが、 効率を考えると100頭を2台で搾るのが理 想と考えている。

川上:ロボット導入により乳量は110%に増えた。餌の給与量も増えたが、発情の発見率が向上し、経営的には十分費用対効果が出ている。導入により牛に直接触れる時間が減るので個体管理は気を付ける。また、飼槽とロボットで給与する餌のバランスが大事だと実感している。今でもデータを見ながらベストな管理方法を検討している。

分業化や、共同化、外部化による 負担軽減について

栗木:労働負担軽減を考えたとき、作業の 共同による効率化や外部委託による省力化 なども効果があると考えますが、そのあた りの取り組みをご紹介ください。

長恒:現在、3戸で共同して86haを管理している。メリットは機械の導入コストが抑えられることと収穫作業が早く済むこと。 父親の代から長く続いており、自分には当たり前の取り組みになっている。

栗木:共同利用や共同作業は作業調整が難しくうまくいかないともよく耳にします。 長く続く秘訣などあったらお話下さい。

長恒:不満を言ったらおしまい。思っても抑えておく。みんなで良いものを作ろうという思いが3戸の中で共有されていることが大きいと思う。

徳山:現在、80haを4戸で管理している。 作業ごとに担当が決まっているが、1人が 大変なときは助け合う習慣ができている。 このことは草地管理だけでなく、何かあっ たとき代ってやってくれる人がいると心強 さを実感している。

佐賀:外部化ということではヘルパーの利用位。自分が休むときに利用しているが、 共進会の時ぐらいで限定的。

立田:現在は父と2人で牛の管理と草つくりのすべてをやっている。ヘルパーも利用するが、基本、父親の負担を軽減するのと、自分が1日中用事のあるときだけ。

栗木:ここで少し関係機関からお話を聞いてみたいと思います。労働負担軽減に向けた県や酪農協の考えをご紹介ください。



斉藤: 県では新しい酪肉 近代化計画を来年度策 定の予定。その中で酪農 は家族経営が基盤にな ると考えている。特に、 経営の持続という点で

後継者が入ってきやすい環境の整備が重要と考えている。そのためには、やりがいが 実感でき、ゆとりある労働環境が必要で、 今日の皆さんのお話を計画作りの参考にし たい。

小島:私はおか酪で資金 や融資関係の支援、クラ スター窓口などを担当し ている。今日のお話を伺 いながら、酪農家の皆さ んの期待に応えられるよ



う、業務を担当する思いを強くしている。

フリートーク

栗木:ここからはフリートークにして、 もっと皆さんの関心のあるところで本音を お聞きしたいと思います。その口火として、 私から一つ伺いたいことがあります。皆さ んの話の中で、現在は両親が手伝ってくれ ているが、近い将来、夫婦だけになるとい うお話がありました。そのあたりをもう少 し具体的にお聞きしたいと思います。

立田: 父が働けなくなったら、自分一人か 妻や雇用に頼るかだが、いずれにしても機 械で働きやすい環境整備して、まず妻に手 伝ってもらうことから始めなくてはと密か に思っている。

川上: その点で佐賀さんにききたい。先ほどの話では佐賀さんの休みがほとんどないような感じだが、奥さんをはじめ家族から不満はない?家族経営では奥さんの存在は大きいと思うのだが。

佐賀: おっしゃる通りで、今後考えないといけないと思っているところ。

栗木: 持続的な家族経営では、経営のパートナーでもある奥さんとの関係が重要ですが、どのようなことを心掛けていますか。

長恒:私は自分が外に出ることが多いので 妻にも積極的に息抜きの機会を提案してい る。例えば酪農協の女性部の集まり。また、 従業員がいるので、いずれは家族旅行をし たいと、常々、家族にも考えを伝えている。 佐賀:うちの妻は非農家で最初は手伝い程

度だった。しかし、それまで酪農を担っていた姉が別の酪農家に嫁いでから、他人を雇うよりは自分でやってみようという気になった。

川上:我が家も同じ。妻は非農家だが、もともと動物が好きであまり抵抗はなく手伝ってくれた。今は子供がいるので経理だけだが、現場に出ていない分、私の方から今日の牛舎のできごとなどを話すようにしている。牧場に携わっていると感じられれば、やりがいになるのではと考えている。

栗木:搾乳ロボットについてもう少し聞かせてください。この2,3年で県内でも導入が進みました。その中で、導入後の乳質

が安定しないとよく聞きます。そのあたりどうでしょうか。

川上:乳量が増える分、脂肪が薄くなるが、逆に体細胞・細菌数はよくなっている。 徳山:正常に稼働していれば問題ない。ロボットは1台の搾乳回数が多いので、ライン内にゴミが溜まったり、部品の劣化が早い。その対応が遅れると乳質に影響するので注意している。

栗木:粗飼料の確保について伺います。

小橋:草は大事。良い草をあげれば繁殖や 乳質は良くなる。全量購入しているが、価 格だけで決めていない。国内産は使ったこ とがないので、品質はわからない。

長恒:金額よりも通年で安定して利用出来 るかがポイントだと思う。

徳山:立田さんは手伝いなしで草を作っているの?

立田:はい。父親と2人だけやっている。 農家が周りにいないので共同する相手がい ない。堆肥利用の面もあるので、酪農を続 けるなら自給飼料生産も続けるつもり。

将来の展望について

栗木: まとめとして、皆さんに今後の計画 や将来展望を伺います。また、それについ て県やおか酪、畜産協会等に期待すること があればご紹介ください。

徳山:将来は夫婦2人の経営を想定しているが、草つくりを含め基本は1人で作業できる体制を念頭においている。また、ロボットをもう1台入れて増頭したい。ロボットは1台増えても作業性は変わらない。

栗木:停電時のリスク管理は?

徳山:発電機の導入も考えたが、コストに合わない。今はソーラーの蓄電で対応する 予定。 小橋: 私も1人になったときでも余裕をもって作業できるかを常に頭の隅においている。牛舎は古くなっているが、少しずつ手直しし、発情発見などの技術を導入しながらゆとりをもって楽しく経営していくのが目標。ヘルパーに心置きなく任せられるようなマニュアルを作って、1日旅行に出かけられるようにしたい。

川上: 自分が子供のころは両親とも毎日忙 しく、家族全員で遠出した記憶が無い。仕 事は生きるための手段であり、自分にとっ ては家族との時間が大切。そのためヘル パーを週1回利用して休日を作っている。 子供に酪農を継いで欲しい気持ちはある が、無理にという気持ちはなく、どんな仕 事を選んでも応援してやりたい。ただ、子 供が親の姿を見て自然に酪農をやりたいと 思ってくれたら嬉しい。だから自分の代で 借金は完結することが前提でやっていく。 また、酪農のイメージを変えたい。理想は 長靴を履かなくてもできる仕事。地域や一 般の人に酪農を知ってもらう取り組みを続 けて、子供たちが家業に胸を張れる環境を 作りたい。

佐賀:現在の経営内容では、夫婦2人では厳しいと思う。父が引退したら、従業員を雇用するか、搾乳ロボットを導入する必要があると考えている。また、作業全般の省力化は必須。投資金額が大きいので踏み切れずにいるが、来年40歳なので、早く決断しないといけないと考えている。

立田:現在は父と2人でギリギリなので、 省力化は必須の課題。方法を模索中で補助 事業があればどんどん利用して1人で出来 るように機械を整備しないといけない。お 金がかかることなので資金計画は十分に検 討したい。 **長恒**:とりあえず、牛床を満杯にして計画を軌道にのせることが目標。今でもヘルパーを頼まなくても休める体制だが、家族で旅行に行けるゆとりを作りたい。よい草が健康な牛を育て、よい乳を出すので自給飼料の生産にはこだわっていきたい。そのために機械への投資も必要と考えている。

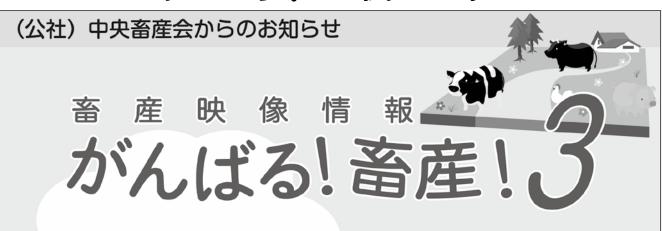
小島: 改めて酪農家の皆さんの生の声を聴いて、酪農家が牛舎でどんな作業をしているのか知らないことを痛感した。これからはもっと現場をみて、情報を共有しながら、担当業務や補助事業などわかりやすい説明

をできるようにしたい。

斉藤:皆さんのお話を伺って、酪農を魅力 ある職業にするのが県の課題だと改めて 実感した。補助事業の活用など、個々の経 営に合った適切な支援をしていきたい。

栗木:本日は貴重なお話を伺え、家族経営の将来像が見えてきた思いです。特に、皆さんが夫婦2人の労働力を想定し、ゆとりある経営の姿を考えて実践していることに感心しました。畜産協会としても皆さんのお役に立てるよう努めていきます。本日はありがとうございました。

謹 賀 新 年



畜産現場の"今"を30分の番組にしました! 映像を各種研修会、セミナーにご活用ください! 配信中の:IoT技術の活用/農場HACCP/搾乳ロボット/他



◀スマートフォンからはこちら

▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



お問合せ:(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

CSF (豚コレラ) 等の防疫対策

岡山県農林水産部畜産課

1 CSF等の発生状況等(11月25日現在)

(1) 農場におけるCSF発生概要

2018年9月9日に岐阜県で発生して以降、残念ながら発生地域は拡大の一途をたどり、9府県(埼玉、山梨、福井、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、大阪)で、全国飼養頭数の1.7%にあたる15万頭を超える豚が殺処分されました。

(2) 野生イノシシのCSFウイルス感染

野生イノシシでの感染は、発生以降12県 (大阪府を除く発生8県に加え静岡、富山、 群馬、石川)に及び、約1,400頭の陽性イノ シシが確認されています。気になる西方面 については、滋賀県や三重県で確認されて おり、少しずつ本県へも迫ってきています。

(3) ASF(アフリカ豚コレラ)の状況

アジア地域におけるASFの発生状況を 見てみると、2018年8月に中国で確認され てから中国全土、モンゴル、ベトナムなど 東アジア各国、さらには北朝鮮へ広がった 後、遂に2019年9月に韓国で感染が確認さ れました。

CSFもASFも日本への侵入ルートとしては、訪日外国人が携行する豚肉製品が問題視されており、複数の空港で、手荷物の豚肉製品からASFウイルスの遺伝子陽性事例が継続的に81件確認され、岡山桃太郎空港でも6件確認されています。

2 国の対応状況

(1) 飼養衛牛管理基準遵守の徹底と見直し

CSFは、豚ヘワクチンを接種しても免疫応答のない個体が一定数いることや、ASFには有効なワクチンがないことから、国としては、飼養衛生管理基準の徹底を発生予防の基本対策としていますが、これまでの発生農場の調査等をもとに、防護柵設

置の義務化や食品循環飼料の利用要件の厳格化など、より厳しい基準にすることを検討しています。また、ASF発生時の予防的殺処分を家畜伝染病予防法で可能にすることも検討されています。

(2) 野生イノシシ対策

野生イノシシがCSFウイルスを伝播させていること、またASFにもそのリスクがあることから、国は農場周辺の防護柵設置を助成(補助率1/2)する「ASF侵入防止緊急支援事業」を予算措置し、現在、全国で急ピッチに防護柵設置が進められています。

経口ワクチン散布については、国が地域を指定して県、市町村、猟友会等の協力を得て散布していますが、既にワクチンベルトの外側で陽性イノシシが確認されており、対策の強化が求められています。

(3) 豚へのワクチン接種

関東へ発生地域が拡大したこともあり、 国は昨年10月15日に、「豚コレラに関する 特定家畜伝染病防疫指針」を一部改正し、 ワクチン接種推奨地域に設定された場合に は、飼養豚へのワクチン接種を可能にしま した。現在までに12県(埼玉、山梨、福井、 長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、静岡、富 山、群馬、石川)で実施が進められていま すが、愛知県ではワクチンを接種していな い子豚で発生が認められ、ワクチンだけで は本病の制圧が難しいことを思い知る事と なりました。

(4) ASFの水際防疫

これまでも、国際線の就航する空港で、動物検疫所による靴底消毒や検疫探知犬による検査が行われてきていましたが、相継ぐ不法な豚肉製品の持込みを受け、国は本年度中に探知犬を増頭することを決定しま

した。(現36頭→1.5倍の53頭の予定)。

また、2019年4月22日から、海外からの 肉製品の違法な持ち込みに対する対応を厳 格化し、輸入検査を受けずに畜産物を持ち 込んだ場合は、3年以下の懲役又は100万 円以下の罰金が科せられることになりまし た。

3 県の対応状況

(1) 飼養衛生管理の指導強化

本県では、県内の豚飼養農場22戸(飼養 頭数約4万頭)について、立入検査により 消毒・記録などの衛生管理や早期発見・早 期通報について指導を強化しています。

(2) 野生イノシシ対策

CSF感染イノシシの本県への侵入を想 定し、以下の取組みを実施しています。

- ①前述の国の緊急支援事業に県費(事業費の1/6)を上乗せし、野生イノシシの防護柵の設置を強力に推進しています。
- ②本県へのウイルス侵入をいち早く把握するため、死亡及び衰弱したイノシシを対象にCSF及びASF検査を実施しています。昨年11月20日現在、5頭検査し全頭陰性を確認しています。

(ASFは昨年11月から開始し、1頭実施して陰性)

③生息密度低減の取り組みとして、今年は1~2月にイノシシの有害鳥獣捕獲の強化期間を設定しました。また、隣県等で野生イノシシの感染が確認された場合、さらなる捕獲の強化、捕獲イノシシ検査や経口ワクチン散布が必要になってくると思われ、現在、検査施設の整備や猟友会など関係団体との調整や準備を進めているところです。

(3) ASFの水際防疫

ASFの発生防止には、水際から農場に ウイルスを侵入させない対策を多段階で取 り組むことが重要であり、岡山桃太郎空港 では、国が実施する国際線に加えて国内線 到着便についても昨年6月から靴底消毒を 実施しています。

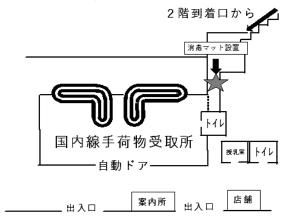


図 岡山桃太郎空港消毒マット設置場所

(4) 防疫体制の強化

万が一、伝染病が発生した場合に備えて、必要な防疫資材の備蓄や各農場の防疫計画策定を行うとともに、自衛隊、岡山県建設業協会、岡山県トラック協会等と共に防疫演習を実施するなど、発生時に備え迅速かつ的確な初動防疫体制の強化に努めています。

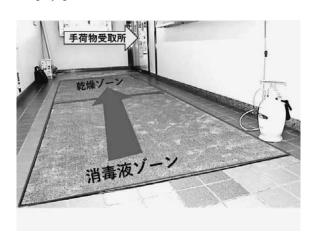


写真 実際の設置場所の写真

4 畜産関係者へのお願い

野生イノシシによる媒介や、不法な畜産物の持ち込みなど、我国はこれまで経験したことのない難題をつきつけられていると言っても過言ではありません。この苦境のなか、日本の養豚業を守るため、生産者のみならず全ての関係者の最大限の取り組みをお願いします。(本原稿は11月末現在で執筆したものであることをご了承ください。)

〔畜産現場の声〕

異業種参入による耕作放棄地等の 借地放牧による繁殖経営から

新見市 株式会社いろりカンパニー 井石 和美

弊社は、田中実業グループの農業部門を担う会社として平成28年6月に設立しました。 現新見市(主に旧阿哲郡新郷村・千屋村)は、古くから労働力として牛が飼われており、1800年頃より蔓牛と言われる 良系統 の蔓が創生され、竹の谷蔓牛として高名を馳せていた歴史のある産地です。



新見市の地域産業の一つである「畜産業」ですが、現状は高齢化、後継ぎ不足による 廃業、農業人口減少による離農が進み、衰 退の一途を辿り、千屋牛の生産頭数が激減 していると言う事を知り、企業として出来 ることは何かと考えました。

知名度との解離が激しくなっている生産 現場、高い技術を持った繁殖農家さんの存 在、後継ぎ不在による技術の断絶など、地 域の宝であるべき血統牛や繁殖技術、調教 技術を繋ぐことの出来るギリギリのタイミ ングである事や、新見市が全国に誇れる新 しい価値を創造し、人口減少、限界集落の 増加・耕作放棄地・荒廃する山林や害獣と 言った全国の地方と同じくする問題の解消 に「和牛の放牧」で取り組むことで、地域 の活性化に微力ながら貢献できるのではな いかと思いました。

特にこだわっているのは、地元系統(血統)牛の継承と、親子周年放牧による飼養です。人の労働力の不足部分を牛にやって

もらうのです。例えば草で覆われた田畑、山林に牛を離し雑草を食べてもらう、といった様にです。景観が荒れていくと、そこに住む人たちの心にも影を落としていきます。そんな地域では人は決して未来志向にはなれません。地域を明るくする為にも景観の美しさや人の動きが必要になります。



日本の宝である和牛、歴史のある産地の新見に残る竹の谷蔓牛の母系統牛(千屋牛)の「のぼる」「あかし」「はやみ」や「竹の谷蔓牛の牛群」を繋ぐために、放牧と言う手段を選びました。その手段に留まらず、和牛の親子周年放牧繁殖を事業シーズと捉え、川下に事業展開することで付加価値が大きくなるだけでなく、地域産業の継続、人や地域の活力と言った価値も生まれます。地域で放牧繁殖された牛を地域で肥育し、販売する、和牛の親子放牧を見に来てもらうと言った様に、新見市が一つの繁殖肥育一貫ファームとして機能することが、私の考える持続可能な農業、持続可能な地方です。

と言いながらもこの事業に係るまで牛の事を考えた事はありませんでした。お肉を購入する時でさえ、「肉=牛」ではなかったと思います。食育から生まれる感謝の気持ちやアニマルウェルフェア、HACCP、GAPといった世界基準に近づけるような飼養を目指して、努力していきたいと思います。

〔県民局だより〕

1頭のヤギから始まった自家製チーズ作り

備中県民局 畜産第二班

1 「さーちゃんミニヤギ牧場」とは

「さーちゃんミニヤギ牧場」は新見市西 方ののどかな山間に位置し、ヤギ乳を使用 して自家製チーズを作り、販売されてい る牧場です。自宅敷地そばの水田に放牧場 を整備し、ミニヤギやザーネン種、アルバ イン種など20頭のヤギを飼養されています (写真①)。牧場主の定岡隆典さんは動物 好きでしたが、農業や畜産を学んだわけで はなく、実家も畜産農家ではありませんで した。



(写真①) 放牧場の様子

2 ヤギを飼おうと思ったきっかけ

「ヤギを飼い始めたのは平成19年頃、父親が仕事の関係で管理できなくなった水田を荒らさないよう、ヤギを導入したことがきっかけでした。」(写真②)

導入したのは1頭のミニヤギの雌。1頭だけでは鳴くばかりでなかなか雑草を食べてくれず、最初は自宅近くのガレージで飼っていました。ある日、どうもヤギの様子がおかしいと思っていると既に妊娠しており、その後、3つ子のヤギを出産。これを機にヤギ小屋を建て、水田を放牧できるように整備し、徐々に頭数を増やしていきました。このころはまだチーズを作る予定はなく、「いつかは自家製チーズを作ってみたい」という思いがあるのみでした。



(写真②) 牧場主の定岡さん

3 ヤギチーズを作るきっかけ

頭数が増えてくると「ヤギを購入したい」と牧場に来られる方や、ヤギが放牧されている様子を見に来られる方が増えてきました。牧場に来られる方にコーヒーなどを提供したい、ヤギ乳を知ってもらいたいと思い、独学でまずは少量のヤギ乳でも作れるプリンなどのスイーツの提供を始めました。以前から「チーズを作りたい」という思いと、また市内でヤギのチーズを作っていた牧場がなくなったこともあって、4~5年前から乳量が多い種類のヤギの導入やチーズの試作などを始め、今年春から本格的にチーズの製造・販売を始めました。(写真③)



(写真③) 牧場内にある「CAFE GREEN」

4 こだわりの自家製ヤギチーズ

チーズは定岡さんが育てているヤギから 絞ったヤギ乳と新見市内の酪農家から仕入 れた牛乳を使い、自宅敷地内の工房で作ら れています。冬になるとヤギ乳が取れなく なるので、牛乳を使用したチーズがメイン になります。自家製チーズはモッツァレラ、 カマンベール、ゴーダ、カチョカバロ、リ コッタの5種類で、日替わりで作られてい ます(写真④)。これらのチーズは牧場内 のカフェだけでなく、新見市正田の「あし ん広場」でも購入することができます。



(写真4) ゴーダ (手前) とカチョカバロ (奥)

5 おすすめチーズの食べ方を紹介!

これからの寒い時期、定岡さんのおすすめは、モッツァレラ、カチョカバロ、カマンベールの3種類です。

「モッツァレラ」はフレッシュなチーズの旨味を感じられるカプレーゼや、トーストと一緒に焼いてトロッとした食感を味わうことができる食べ方がおすすめです。

「カマンベール」のおすすめの食べ方は、 チーズを丸々1つ使用した贅沢なチーズ フォンデュ。これからの寒い時期、体を中 からぽかぽか温めてくれます。

あまりなじみのない「カチョカバロ」はひょうたん型のハードタイプのチーズです。スライスしたカチョカバロをフライパンで焼くと外はカリッと、中はトロッとした食感を味わうことができ、そのまま食べてもパンや生ハムでサンドして食べてもおいしいです。筆者も生ハムとレタス、カチョカバロを使ったサンドイッチを作ってみましたが、カリカリに焼いた外側は香ばしく

中はトロトロで、生ハムにも合いとてもおいしかったです! (写真⑤)



(写真⑤) カチョカバロサンドイッチ (筆者作)

6 今後、定岡さんがやってみたいこと

「まずは自分の理想のチーズの味に近づけること。そしていつかは、ジャージー牛も飼ってみたいと思っています。」

まだまだ改良の余地があると、自家製 チーズの味に納得がいっていない定岡さ ん。他にも作ってみたいチーズもあるとの ことでした。自家製チーズがどの様に進化 していくのか、今後が楽しみです。

皆さんもぜひ、ヤギチーズを味わいに訪れてみてください! (写真⑥)



(写真⑥) 人懐っこいヤギたち

<さーちゃんミニヤギ牧場>

住 所:岡山県新見市西方2544 電話番号:080-4264-2797

営業時間:10:00~16:00

牧 場:年中無休

カ フェ:土日のみ営業

HPURL: www.sa-chanstockfarm.com ※訪問される場合は、事前に連絡をお願

いします。

〔技術のページ〕

乳用牛雌雄選別精液の利用と普及性

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 繁殖システム研究グループ

1 はじめに

人間の赤ちゃんの男女比(出生時男女比)は50:50ではありません。100年以上前から51.3:48.7前後で推移しており、女児が少なく産まれています。わずか2.6%程度の違いですが、2016年では女児が男児を26,782人下回る結果となっています。しかし、なぜ出生時に女児が少ないかについては、未だ解明されていないということです。では、牛の世界ではどうでしょうか?

2 牛の性比

(独)家畜改良センターでは個体識別情報を活用した届出情報を公表しています。それによると、なんと牛の世界でもほぼ同様で、47.3%程度の割合で雌子牛が出生する結果となっています。これはホルスタイン種に限らず、黒毛和種や交雑種でも同様であり、雌子牛が少なく産まれています。

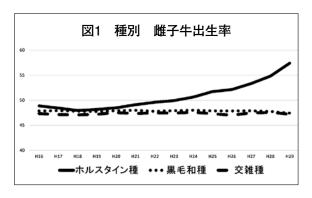


図1には平成16年度から29年度までのホルスタイン種、黒毛和種、交雑種の雌子牛の出生割合を示しています。黒毛和種、交雑種については軒並み横ばいで推移していますが、ホルスタイン種については平成24年度に50%を超えると右肩上がりで推移

し、平成29年度には57.4%まで急増しています。

では、なぜ平成24年度以降から雌子牛の 出生率が高まったのでしょうか? それは 雌雄選別精液の普及によるものと考えます。

3 雌雄選別精液とは

ほ乳類の精液にはX精子とY精子が半数ずつ含まれており、X精子が受精すれば雌、Y精子が受精すれば雄となります。このX精子とY精子ですが、DNA含量に約3.8%のわずかな違いがあります。この違いを利用してフローサイトメーターという機械によりX精子とY精子、つまり雌精子と雄精子に分離し、90%以上の精度で希望の性(ホルスタイン種では当然、雌精子となりますが)の精子を選別することができるようになりました。

また最近ではDNA含量で精子を識別した後、不要な精子(ホルスタイン種であれば雄精子)にレーザー光を当てて分割・死滅させるという新しい技術が開発され、徐々に普及しているところです。

当研究所では乳牛受精卵の性判別を実施 していますが、昨年度の雌雄選別精液及び 通常精液での性判別の結果は表1のとおり です。

表 1 乳牛受精卵の性判別結果

精液の種類	雌雄	卵数	パーセント
雌雄選別精液	우	111	88.1%
以此《胜》医 <i>万</i> 小作用/仪	₹	15	11.9%
通常精液	우	99	38.7%
世	8	157	61.3%

雌雄選別精液では88.1%が雌受精卵であり、雌雄選別精液の精度の高さを確認することができました。

なお原因は不明ですが、通常精液の雌受 精卵は38.7%と極端に低くなっています。

4 雌雄選別精液の普及

(一社)日本家畜人工授精師協会の「乳用 牛への人工授精等情報調査(交配調査)」 によると、全国では平成28年には雌雄選別 精液での交配が全体の10%を超え、平成31 年第2四半期では17.3%と著しく普及が進 んでいます。

ここ数年の導入牛価格の高騰から、酪農家の自家育成牛確保の取り組みと、雌雄選別精液が以前と比べて身近になったことなどが、普及を推し進めているものと考えます。

5 岡山県内での利用状況

全国的に普及が著しい雌雄選別精液ですが、岡山県内での利用状況については詳しい調査が行われていません。そこで、当研究所では今年度と来年度の2カ年で利用状

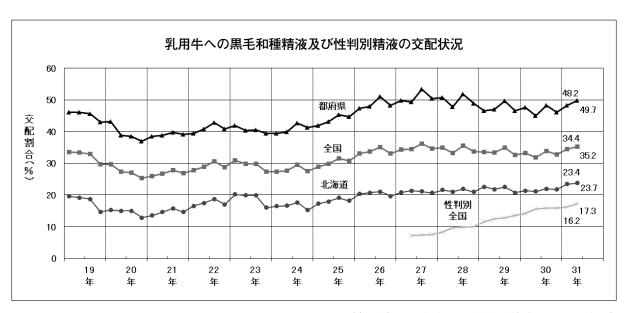
況調査を行うこととしました。

酪農家は後継牛確保のためホルスタイン 種を交配します。そして自家牛群規模が維持できる頭数が生産されれば、ホルスタイン種雄子牛よりも高価な交雑種(F1)子牛や受精卵移植による黒毛和種子牛の生産量を増やすことにより、収益を向上させることができるものと考えます。

全国的には飼養頭数や後継牛の更新率、 雌雄選別精液の受胎率等から収益性を試算 しているものもありますが、最近の導入牛 価格や黒毛和種子牛の価格等が反映されて いません。

県内の乳用牛雌雄選別精液の利用状況を 調査し、利用の多い農家、中程度の農家、 未利用の農家を抽出し、聞き取り調査を行 うこととしています。これにより、受胎率 や雌産子の出生状況等、雌雄選別精液を利 用したことによる経済効果を算出し、収益 性の高い利用方法を明らかにしていきたい と考えています。

今後、酪農家の皆様には聞き取り調査を お願いすることもあろうかと思いますが、 御協力をよろしくお願いいたします。



((一社)日本家畜人工授精師協会HPから抜粋)

〔家保のページ〕

JGAP認証制度について(JGAPと農場HACCP)

津山家畜保健衛生所

1 GAPとは

GAPとは<Good Agricultural Practice>の略で日本語に直訳すると「良い農業の実践」となります。

「良い農業」とは、農業事業者として従 うべき規範群を遵守し、日々の農場管理を 行うことです。そのために実践すべき事項 を定めたものが「GAP」です。

2 JGAPとは

JGAPは、日本版GAPのために実施すべき事項を定めたものです。現在JGAPの対象品目は、青果物、穀物、茶、そして家畜・畜産物です。

畜産事業者として遵守または従うべき規範群

・日本の法律

家畜伝染病予防法(飼養衛生管理基準)動物用医薬品等取締規則 食品衛生法 労働基準法 労働 安全衛生法 など

・行政指針等

農場HACCP認証基準 特定伝染病防疫指針等

・世界の基準・法律

コーデックス基準(HACCPガイドライン) 海外の食品衛生法(農畜産物輸出時)など

・時代の要請や良識として従うことが望ましい規範 環境保全型農業推進憲章

アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管 理指針 取引先の要求事項 など

<図-1 遵守すべき規範群>

JGAP家畜、畜産物は、図−1に示す規 範群で作成されています。

3 JGAP認証が求める管理点

現在、JGAP家畜・畜産物の管理点は合計で113項目あります。

その内、法令遵守等の面から最も重要 とされる管理点「必須」が57あり、これは 全て<100%>適合しなければなりません。 適合が強く求められる管理点「重要」は42 あり、<95%以上>の適合が必要です。そ れ以外に認証には影響しないが取り組みが 望まれる管理点「努力」が14あります。

4 JGAPと農場HACCP

JGAPの求める管理点の多くは、農場 HACCPの取り組みと共通しています。

2つの認証制度において、一番わかりやすい違いは、農場HACCP認証は、その内容が比較的生産工程に限られているのに対して、JGAPの管理点は農場経営全般が対象となっています。(図-2参照)

JGAP認証と農場HACCP認証



<図-2 JGAP認証と農場HACCP認証>

項目の対象範囲以外の根本的な違いは、農場HACCP認証が、HACCPの構築、運用といったシステムに対する認証で、それ故に、構築したHACCPシステムの運用状況や、それによる農場の改善が重要視されるのに対し、JGAPは、定められた管理点が基準を満たしているかを審査します。

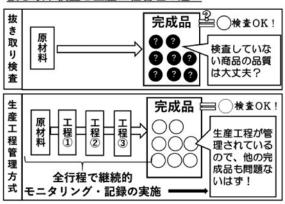
5 HACCPによる管理とは

HACCPとは生産工程管理の事です。

たとえば、何かの製造現場において、品質管理のために完成品の抜き取り検査を

行っているとします。しかし、この方法では、検査を行った製品以外の品質は保証できません。そこで、全ての生産工程(過程)でチェックする仕組みを作ることで、生産される製品全ての品質(安全)を確保しようとする取り組みが、生産工程管理(HACCP)です。仮に想定外の事態で問題が発生しても、生産工程が管理されていれば、原因が追及しやすく、速やかな改善が図られます。(図-3参照)

抜き取り検査と生産工程管理の違い



<図-3 抜き取り検査と生産行為管理の違い>

農場HACCP(畜産分野)では、飼養衛生管理基準などの法律をふまえた上で、まずは、家畜・家禽の生産導入から飼養管理(搾乳作業など含む)、治療、処置、移動、出荷などの全工程を整理、把握します。(フローダイアグラムの作成や危害要因分析など)それぞれの工程に作業方法を定め、日々のチェックや記録を行う体制を構築します。(農場の見える化)こうした作業で、安心安全で持続的改善が可能な生産体制の農場とする事が農場HACCPです。

6 JGAP認証で求められる管理点

JGAP認証では、農場HACCP認証の 範囲外の内容も管理点として定められてい ます。(図-2参照)

各項目別に、その一部を紹介します。

1) 農場管理

燃料や農薬、肥料の整理整頓や使用簿の 作成、保管場所の管理(施錠や必要な標記、 燃料保管場所の消防設備)などが管理点と してあげられます。

2) 労働安全

労働条件の遵守や安全対策(ヘルメット 着用など)、外国人労働者の在留許可の確 認など。他にも重要項目としてトイレの確 保も管理点の1つです。

3) 人権尊重

最低賃金の厳守や、労働への適正な賃金 の支払い。特に外国人労働者に対しては正 規ルートでの雇用。などが求められます。

4) 環境保全

まず、廃棄物の適正な処理は必須事項ですが、周辺環境への配慮と地域社会との共生のために、騒音、悪臭、虫害、煙、有害物質の飛散流出に配慮することが求められます。

5) アニマルウェルフェア(以下AW)

各家畜ごとにAWの考えに対応した飼養 管理指針があります。例えば牛の断尾は好 ましくないとされています。また、外部に 家畜輸送を依頼する際には、契約書にAW に配慮した輸送をするよう明記する必要も あります。

7 最後に

このような認証制度については、今後、 国内外のバイヤーから認証取得を求められるケースが増えてくると言われています。 既に食品加工などの分野では食品衛生法が 改正され、HACCPによる取り組みの義務 化が決まっています。

現状では、農場における認証取得には 様々な考えがあるとは思いますが、こうし た認証制度には今後の農業に求められる要 素がまとめられています。

まずは、JGAPや農場HACCPの認証 制度について、調べてみることから始めて みませんか?

<参考>

(一社)日本GAP協会 http://jgap.jp/ (公社)中央畜産会 http://jlia.lin.gr.jp/ 農林水産省 http://www.maff.go.jp/index.html *農業生産工程管理(GAP)に関する情報

生乳検查NOW: 令和元年度上期

(一社)岡山県畜産協会生乳検査センター

酪農経営は、改正畜安法(畜産経営の安定に関する法律)の施行による収益力強化や畜産クラスター事業での生産機械の導入などによる生産性の拡大が図られています。そんな本年度上期を終えた今、生乳検査成績を通して乳質の現況を紹介します。

1. 生乳生産量(生乳検査対象乳量)

図1は、平成29~令和元年度上期までの 岡山県の生乳生産量の推移ですが、上期生 産量は44,531トンで、対前年比97.3%であ り、減少の原因は改正畜安法が大きき影響 していると考えられます。

中国地区全体でも今期の対前年比は、98.3%でした。

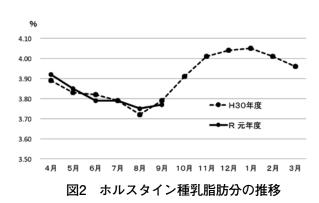


図1 生乳生産量の推移(岡山県)

2. 乳成分

(1) 乳脂肪率の推移

図2,図3は、ホルスタイン種及びジャージー種の平成30年度と令和元年度上期の、乳脂肪率の推移です。ホルスタイン種は、ほぼ昨年度と同様ですが、ジャージー種は、夏期の7月から9月の脂肪率が昨年度を大きく上回っています。



8.80
8.70
8.60
8.50
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 図4 ホルスタイン種無脂乳固形分の推移

96
5.40
5.30
5.20
5.10
5.00
4.90
4.80
4.70
4.60
4.50
4.50
4.40
4.30

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

図3 ジャージー種乳脂肪分の推移

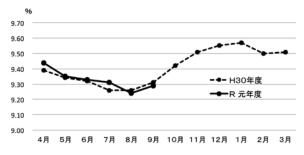


図5 ジャージー種無脂乳固形分の推移

(2) 無脂固形分率の推移

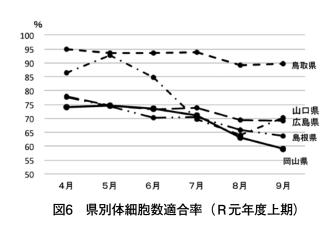
図4,図5は、ホルスタイン種及びジャージー種の無脂乳固形分率の推移です。 ホルスタイン種及びジャージー種ともに、昨年度に比べ7月までは高い傾向でしたが、夏 場の8月と9月は昨年度より低下しました。

3. 体細胞数

図6は、本年度上期の中国地区各県の体細胞数30万未満/mlの適合率を、各月別にみたものです。

鳥取県は、適合率が89%以上で推移しているのに対し、岡山県は7月までは70%台で約20%低く推移しています。特に、9月には60%以下に低下しています。

図7は、岡山県の体細胞数適合率を、地区別にみたものです。西大寺、備南、びほく、 真南地区では、約70%以上であったのに対し、津山地区は64.1%、東部地区は59.2%と低い 適合率でした。



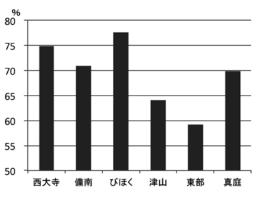


図7 地区別体細胞数適合率(R元年度上期)

4. 細胞数

図8は、岡山県の細菌数10万未満/mlの 適合率を、地区別にみたものです。全ての 地区90%以上で、特に、備南、津山、真庭 地区は約93%以上であったのに対し、西大 寺、びほく、東部地区はやや低い適合率で した。

今年4月より、新乳価デーブルが設定され、乳質評価は乳成分加減算テーブルと

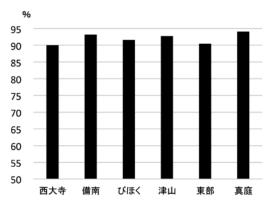


図8 地区別細菌数適合率(R元年度上期)

衛生的乳質加減算テーブルを用いて算出するようになります。基準値は、乳脂肪分は3.5%、 無脂乳固形分8.5%で、体細胞数20万/ml以上30万未満/ml、細菌数3万/ml以上10万未満/ mlに設定されていることから、良質な生乳生産に向けて、更なる関係機関の指導の必要性 が大いに感じられます。

〔共済だより〕

家畜診療日誌

北部基幹家畜診療所 築山 嘉輝

こんにちは。北部基幹家畜診療所に所属している築山嘉輝と申します。愛知県出身の26歳で、うさぎと一緒に住んでいます。 以前は兵庫県の小動物の動物病院に勤めていました。12月に採用されましたので、もう1年になります。入社当初は不安ばかりで、毎日そわそわしていました。農家さんも不安に思われたと思いますが、温かい目で見守ってくださり本当に感謝しています。今はそれなりに慣れてきましたが、見たことない症例、原因が全く見当も付かない症例、今にも死にかけている症例、お産に遭遇すると、平静を装っていますが、頑張っています。まだまだ未熟ですが、頑張っていきたいと思っています。

大学の時所属していた研究室は主にヒト の抗がん剤の研究をしていたので、牛と触 れ合う機会は大学の実習以外ありませんで した。大動物臨床の現場は一度も見たこと がなかったので、採用試験を受ける前に実 習をさせていただきました。生産獣医療セ ンターでお世話になり、西山所長にいろい ろと教えていただきました。食らったら間 違いなく骨が折れそうなカウキックをいな しながら、枠場無しでその場にあるもので 牛を保定し、蹄病処置をするパワフルな西 山所長の姿は今でも鮮明に覚えています。 入社後、多くの先生に付いて回り、治療や 保定、手術など様々なものを見せていただ きました。簡単そうにしていることでも自 分がすると全然うまくいかず、悩むことが たくさんありますが、試行錯誤、先輩に相 談し、自分もスムーズに診療できるように 精進していきたいと思っています。

話は変わりますが、私は岡山NOSAIに 勤める前まで岡山に来たことがありません でした。岡山について知っていることは桃 太郎ときびだんごと倉敷の美観地区くらい で、実は少し不安な気持ちで引っ越してき

ました。自分の趣味は釣りなので、まぁそ こそこ釣りができれば何とか生きていける かなぁくらいに思っていました。11月に岡 山に引っ越してきて、初めて児島湖に釣り に行ったら、スズキを爆釣、さらに自己記 録を大きく更新するモンスター黒鯛を釣っ てしまって震えたのを今でも覚えていま す。やる気のある魚がたくさんいる釣り場 が近くにあって岡山県のことを一瞬で好き になりました。さらに日本三大怪魚のアカ メの聖地の高知県、巨大ヒラマサ、良型グ レが釣れる島根県の隠岐の島へのアクセス も良く、釣り人憧れの地である玄界灘、意 外とクロマグロが釣れる山口県も手の届く 範囲になり、今では岡山に住んで本当に良 かったなと思っています。岡山に来てから 鮎釣りや渓流釣りをあまりできていないの で、来年は淡水の方も力を入れていきたい と思っています。

話はだいぶ逸れましたが、これからもっと畜産、獣医療に関する知識や技術を磨いていきたいと思っています。診療中、牛のことに関して質問されてもまだまだ答えきれないこともあると思いますが、しっかりと勉強し、色々と意見が言えるように頑張っていきたいと思います。あいつは牛より魚を診た方がいいんじゃないか?と言われないように頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



ペットのネザーランド・ドワーフ まるお 7歳 a

賀 新 年

生乳集荷の「安全・安心」な輸送業務に取り組んでおります。

株式会社 きびじ酪農運輸

代表取締役 青江 一三

社

〒719-1156 総社市門田70-1 TEL(0866)93-8790

阿曽事務所

〒719-1103 総社市西阿曽前田193-4

TEL(0866)99-8300 FAX(0866)99-8301



ホンモノは、おいしい。 OHAYO

岡山県産 生乳100%使用

晴れの国



岡山県下、各地域から集乳した生乳を 使用しました。



オ八ヨー乳業株式会社



安全・安心な肉用牛・肉豚・鶏卵の生産農場

岡山JA畜産グループ

新見市哲多町田淵1626番地の1

岡山JA畜産株式会社 代表取締役 石原 正敬

新見市哲多町田淵1626番地1

有限会社 哲多和牛牧場 代表取締役 谷田

宏

謹賀新年 €



岡山県産牛肉銘柄推進協議会

事務局 岡山市南区藤田556-126

> 全国農業協同組合連合会岡山県本部畜産部食肉販売課内 TEL (086) 296-5033 FAX (086) 296-5089

新 年











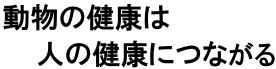










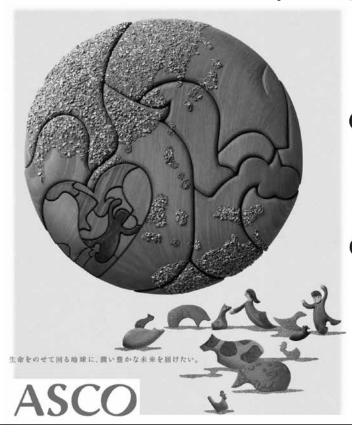


- ●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、 あらゆる動物の健康維持に貢献します。
- ●安全な畜水産物の生産をサポートし、 獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13 TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600

岡山支店 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4880 FAX 086-724-4889 AHSC西日本 〒702-8032 岡山市南区福宮中2丁目6-18 TEL 086-902-2200 FAX 086-264-2500 御津物流センシター 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4816 FAX 086-724-4882 東京本部・札幌・旭川・函館・帯広・北見・釧路・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東大阪第一・天阪第一・兵庫・広島・山口・鳥取・島根・高松・徳島・松山・宇和島福岡オフィス・福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・関東物流センター

新 年



株式会社 🏲 🏖

http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー 人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021 愛知県豊橋市白河町100番地 TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

所在地

- 東日本支店 児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木 東京、大宮、宮城、福島
- 中日本支店 豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- 西日本支店 広島、福山、山口、米子、岡山 大阪、京都

謹賀新年

- ●JAグループの一員として、「安全で安心な飼料」の製造販売を通じて畜産経営の 発展と豊かな食文化の創造に貢献します。
- ●商品の品質を大切にし、JAグループの信頼と「お客様の満足の向上」を目指します。

当社は「心」を大切にし、安全で安心な畜産物を提供するために生産者と消費者の「架け橋」となります。



JA西日本くみあい飼料㈱中国支店

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 TEL 086(234)6896 FAX 086(212)3786



岡山県獣医師会 公益社団法人

会長 春名 章宏 役職員一同

〒700-0973 岡山市北区下中野350-103 TEL (086) 243-1879 FAX (086) 241-8543 http://www.oka-vet.or.jp/

謹 賀 新 年

岡山県農業信用基金協会

農家のための優良保証機関 会長理事 青江 伯夫

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9番18の401号(岡山県農業会館) TEL(086)222-3218 FAX(086)226-3443

謹 賀 新 年

畜産経営の安定に寄与する (一社)岡山県配合飼料価格安定基金協会

理事長 髙田 勉 役職員一同

〒700-0973 岡山市北区下中野350-103 TEL(086)241-4733 FAX(086)241-4722

賀 新 年

当協会は家畜改良増殖の促進と家畜人工授精技術の向上を通じて、 岡山県の畜産振興に尽力します。

> 会長 狩谷 和宏 役員一同



おかやま酪農業協同組合

〒708-0841 津山市川崎94-1 TEL(0868)26-1101 FAX(0868)26-6763

謹 賀 新 年



蒜山酪農農業協同組合

代表理事組合長 長恒 充

〒717-0501 岡山県真庭市蒜山中福田958 TEL (0867) 66-3645 FAX (0867) 66-3647 E-mail:jersey@hiruraku.com http://www.hiruraku.com

謹 賀 新 年

畜産機械器具、資材取扱

西日本興農株式会社

代表取締役 柿 本 平 三

〒708-0841 津山市川崎86-1 TEL 0868-26-1180 FAX 0868-26-6836

謹 賀 新 年



オールインワンが自信を持ってお届けします TMRシリーズ



- ◇ 搾乳用TMR (ドライ・セミドライ・発酵)
- ◇ 子牛用ドライTMR (元気な子牛)
- ◇ 乾乳用ドライTMR (かんたんドライミックス)

和中・内中飼料の専門メーカー 株式 オールインワン ● 中国支店: 〒710-0826 岡山県倉敷市老松町1丁目2-40-101 TEL(086)427-6300 FAX(086)427-6011 E-mail: y-suwa@all-in-one.co.jp

本物の味わい……新鮮な岡山の畜産物。

地方競馬益金は畜産振興を支援しています。

岡山県馬事畜産振興協議会

謹賀新年 岡山県養豚振興協会

会長 石原 正敬

事務局 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館 (一社)岡山県畜産協会内 (086)234-5981

謹 賀 新 年 岡 山 県 養 鶏 協 会

会長 安 原 健 二 役 員 一 同

謹賀新年 岡山県孵卵協会

会長 山 上 祐一郎





弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全てのステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー 品の設計や生産、飼料米の粉砕などの原料の 加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の 多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

避難飼料のパイオニア

フタバ飼制線式会社

7709-034小。 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

FAX 086-953-0832 FAX 086-953-1870

E-mail: futabashiryo.co.jp

高知競馬開催案内

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

1 月						2 月												
開	催	H	備考	開催日 備 考			開催日			備考開		催		備	考			
1	水		薄暮	17	金				1	土				17	月			
2	木			18	土				2	\Box	0	ナイク	ター	18	火	\bigcirc	ナイ	ター
3	金			19	П	0	ナイ	ター	3	月				19	水	\bigcirc	ナイ	ター
4	土			20	月				4	火	0	ナイク	ター	20	木			
5	日			21	火	0	ナイ	ター	5	水	0	ナイク	ター	21	金			
6	月			22	水	0	ナイ	ター	6	卡				22	土			
7	火			23	木				7	金				23	日	\bigcirc	ナイ	ター
8	水			24	金				8	土				24	月			
9	木			25	土				9	П	0	ナイク	ター	25	火	\bigcirc	ナイ	ター
10	金			26	П	\bigcirc	ナイ	ター	10	月				26	水	\bigcirc	ナイ	ター
11	土			27	月				11	火	\circ	ナイク	ター	27	木			
12	日	0	ナイター	28	火	\circ	ナイ	ター	12	水	\circ	ナイク	ター	28	金			
13	月	0	ナイター	29	水	0	ナイ	ター	13	木				29	土			
14	火	0	ナイター	30	木				14	金								
15	水	0	ナイター	31	金				15	土								
16	木			ナ	イタ -	-(1	4:45~	-20:50)	16	日	0	ナイク	ター	ナ	イター	-(1	4:45~	20:50)

ホットニュース

令和元年12月14日(土)、高知競馬場において、中国地区 畜産協会協賛「福山競馬記念」特別競走を開催しました。

第8レース、サラ系1,300mで、センザンルビー号(石本純也 騎手)が勝利し、馬主や調教師の皆さんに、広島和牛「元就」 を贈呈しました。



あとがき

岡山県出身の渋野日向子さんが全英女子オープン最後の18番でバーディーパットを沈め、メジャー制覇を成し遂げ、「スマイリングシンデレラ/シブコ」として一躍脚光を浴びた。その後も最終戦まで賞金女王を争うなど、この一年の活躍には、ゴルフに縁のなかった私でさえ、バウンスバックや壁ドンパットなど、彼女の持ち味でもある集中力、精神力の強さに驚き、感動した。その影には、黄金世代と呼ばれる良きライバルとの切磋琢磨、血のにじむような練習、努力があったことは言うまでもない。

令和元年は、気候変動による自然災害、高齢者の運転トラブル、親による子供の虐待など、暗いニュースもあったが、令和2年は東京オリンピックが開催される。多くの感動、新たなドラマを期待するとともに、平穏無事で明るい一年になることを願わずにはいられない。(Y.N)

岡山畜産便り 1月号(新春号)

第71巻 第1号(通巻684号) 令和元年12月26日発行 定価250円(消費税·送料含)

発行人 柴田範彦 編集人 中塚陽二郎 発行所 **一般社団法人 岡山県畜産協会** 〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階 TEL 086-222-8575 FAX 086-234-6031 印刷所 ノーイン株式会社

新



米国チャーム社:安全性評価用ラインナップ

[生乳用] 残留抗生物質/抗菌性物質スクリーニングキット

従来の阻止円による検査法と同等又はより短時間で、簡単に、かつ広範囲の抗菌性物質をスクリーニング検査できます。 世界的な標準検査法としてEU圏内、USAをはじめ世界中で広く普及しています。

<u>カウサイドエテスト</u>



バルクタンク、個体乳の検査用として ファームでの使用が広がっています。

ブルーイエローエテスト



検査処理数の多い生乳検査所、 乳業工場でご活用頂けます。

<u>DIPテスト</u>

DIIP TEST

簡単 安心 低価

チャームDIPテストは、ROSAテスト ストリップのコンセプトをもとに開発 され、より簡単に、目視で判定を行え

- 10分の迅速検査
 1セット100本入り (専用スポイト、サンブルボトル付)
 コンパクトな加温機(約7㎝の方)
- ◆安心してお使い頂ける低コストキット

FOSS FOSS製:乳、乳製品分析ソリューション

ミルコスキャンマースは生乳、飲用乳、クリームを対象とした新世代のFT-IR(フーリエ変換赤外分析)型乳成分測定装置です。ミル コスキャンシリーズで培ってきた技術と知識を結集させ、コンパクトなパッケージングに数々の新開発テクノロジーを搭載。生乳の品 質管理、原料乳の標準化、製造管理の効率化を高い次元で支援します。



MilkoScan ™ Mars FT-IR乳成分測定装置

■測定項目 : 脂肪、タンパク、乳糖、

全固形、無脂固形、 氷点 (加水)

■測定原理 フーリエ変換赤外分光法

Charm社国内総合販売代理店 フォス・ジャパン株式会社

○東京本社

○札幌営業所

TEL:03-5665-3821

TEL:011-518-1831

○大阪営業所 TEL:06-7174-8550

○九州営業所 TEL:096-292-8681

E-mail:info@foss.co.jp / URL: www.foss.co.jp

ANALYTICS BEYOND MEASURE

新

取扱品目のあらまし

動物用ワクチン・血清類一切.獣医畜産用薬品全般 家畜・家禽の飼料添加剤各種、獣医畜産用器具機械類 衛生材料(ガーゼ・脱脂綿・繃帯・その他) 土壤関係検査測定器具·試薬



JYUCHIKU Co. Ltd.

株式会社 ジュウチク

岡山市北区奉環町4-4-11 岡獣ビル内

TEL 086-214-2288 FAX 086-214-2287

